※令和４年度以降入学生用

学校番号	2001

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「詳説日本史」（山川出版社）						
副教材等	「図説　日本史通覧」（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・過去の一点一点が「現在」につながっていることを認識し、現代社会が直面する諸課題について主体的に考察し、より良い社会を構築するヒントとする。
・これから世界をフィールドに活躍する際に、現在自分が生きる国の歴史や在り方について必要な知識と理解を持つことにより、他国や異なる文化を理解し、尊重する姿勢を養うことができる。
・歴史は実証的な学問である。つねに公正かつ客観的な視点を持ち、歴史的事象を多面的かつ多角的に捉えることができる柔軟な視点が必要である。

2　学習の到達目標

・日本の伝統と文化の特色についての認識を深めるとともに、諸資料から歴史に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・日本と歴史の展開を、地理的条件などとも関連付けて考察することを通して歴史的思考力を培い、現代の日本が直面する諸課題について深く考察する力を養う。
・日本の歴史を学ぶことを通して、グローバル化が進む現代において、平和で民主的な世界を構築するために国際社会に主体的に生きる人間としての自覚と資質を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	現代日本の諸課題を歴史的観点から考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、地域社会や異文化の歴史・文化を尊重し、国際社会に生きる人間として主体的に考察しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期(二年次)	日本のあけぼの・古墳とヤマト政権	・文化の始まり ・農耕社会の成立 ・古墳文化の展開 ・飛鳥の朝廷	a: 国家形成にいたるまでの基本的な知識を身に付け、その過程を理解する。 b: 文献資料や考古資料から客観的かつ多角的に情報を読み取ることができる。 c: 国家形成にいたるまでの過程に関心と課題意識を高め，意欲的に追究している。	定期考査	定期考査	レポート ワークシート
	律令国家の形成	・律令国家への道 ・平城京の時代 ・律令国家の文化 ・律令国家の変容	a: 律令に基づく政治体制や諸制度、国家仏教の興隆によりもたらされた仏教文化の持つ特色について基本的な知識を身に付ける。 b: 文献資料を基に政治抗争の進展と土地制度の変容を読み取ることができる。 c: 律令国家が形成されるまでの過程と地方支配の動揺について多面的・多角的に追究している。	定期考査	定期考査	レポート ワークシート
二学期(二年次)	貴族政治の展開	・摂関政治 ・国風文化 ・地方政治の展開と武士	a: 貴族を中心とする政治や社会の在り方と貴族の生活・文化を理解する b: 文献資料を活用し、地方支配の変質を客観的に読み取ることができる。 c: 律令体制の変容や国際関係の変化、荘園の展開を踏まえて政治運営や武士の台頭を考察・追究している。	定期考査	定期考査	レポート ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	院政と武士の躍進・武家政権の成立	・院政の始まり ・院政と平氏政権 ・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会 ・モンゴル襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化	a：院政の政治構造、武家政権の成立過程および封建制度の成立などについて基本的な知識を身に付ける。 b：絵画資料や文献資料を読解し、武士の生活や土地支配をめぐる地頭と荘園領主との紛争、仏教の新たな展開を読み取る。 c：武家政権の成立過程およびその変容について、社会の変化を踏まえて多角的、客観的に考察・追究している。	定期考査	定期考査	レポート ワークシート
三学期（二年次）	武家社会の成長	・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化 ・戦国大名の登場	a：諸産業の発達による中世社会の多用な展開や都市の発達を踏まえて、戦国期の日本の多様性を理解し、基本的な知識を身に付ける。 b：文献資料や絵画資料から東アジア世界との貿易や一揆の発生などが幕府や社会に与えた影響を読み取る。 c：庶民文芸の流行、戦乱の中で中央と地方の文化的交流の活発化を踏まえて、現代につながる地域文化の特色について考察・追究している。	定期考査	定期考査	レポート ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度